

講師の横顔

やまぐち女性財団では、登録していただいている講師を、団体やグループが行う男女共同参画の研修会へ派遣しています。そうした講師の方々の横顔を紹介していきます。

よしむら みやこ
吉村 京さん



プロフィール
やまぐちエコ倶楽部代表

専門分野
女性の社会参加、仕事と家庭の(子育て)の両立、パートナーシップと共生・共働(循環型社会の構築をめざして)、少子・高齢化社会を生きて、高齢者の子育て支援、自然との共生、地球にやさしい暮らしの実現



美祿市の講座での様子

も携われ、1985年には消費生活センターの所長に就任。1990年には、山口県婦人青少年課長になられ、1993年のやまぐち女性財団の設立も担当され、山口県民生部の児童福祉担当参事を最後に退職されました。

このように、吉村さんは山口県の男女共同参画社会づくりの黎明期から、女性の地位向上や社会参加の促進等の啓発に行政の立場で関わられました。

現在は、「循環型社会の実現」をめざす「やまぐちエコ倶楽部」の代表のほか、幅広く活動をされています。常に現場で、いろいろな人から話を聞きながら、行動してこられた吉村さん。家庭では二人の子とも四人の孫に恵まれ、妻として母として祖母として「仕事と家庭の両立」を実践してこられました。「野次馬根性が強くて」と謙遜されますが、好奇心が旺盛で活動的でいらっしやいます。やわらかい口調は、講座でも「わかりやすい」と好評です。

(取材:河谷)

山口県職員として最初の仕事では、生活改善普及員として農村の生活改善に携わられました。当時の農村では、女性は農作業のかたわら、炊事、育児といった家事に忙殺され

る毎日でした。また、春の田植え時期には、田植えを手伝う「早乙女」が各家庭に入るため、その世話もしなければならず、大変な忙しさでした。その状況を見て、女性の負担を軽減するため、県内初の「農繁期共同炊事」や、季節託児所の開設に尽力されました。

やまぐち女性財団 平成21年度事業報告

平成21年度

男女共同参画人財セミナー

—心をつなぐ— 過去から未来へのメッセージ

日時 平成22年1月16日(土)
場所 シンフォニア岩国(岩国市)
参加者 66名
講師 磯野恭子(岩国市教育委員会教育長)



大型スクリーンを使った講座

岩国市教育委員会教育長の磯野恭子さんより、男女共同参画の歴史や未来への展望について学びました。

10時〜10時30分

講義 「男女共同参画って?」

まず、現在の男女共同参画の体制が出来るまでの歩みを検証しました。多数の写真をとおり、過去から現在に至る道の中に女性の活躍が多く埋もれていることが説明されました。農作業の担い手は女性で、度重なる戦争で働き手を失いながら残された家族を育て上げたのも女性でした。第二次大戦の敗戦から女性解放運動は勢いを増していきましたが、たくさんの軛轢の中から現在の法体制が出来上がったことを十分に認識できました。

10時30分〜12時

トークセッション

「あなたの元気で地域いきいき」

コーディネーター

磯野恭子
中邑隆哉

(岩国中央幼稚園園長)

丸山沙由里

(株式会社西京銀行経営企画本部人事グループ主務 佐野美智子)

続いてのトークセッションでは、男女共同参画社会の実現に向けて、企業や団体の立場からの取り組みについて、3名の発表者による子育て支援、就業支援、高齢者支援の視点で事例発表が行われました。

ライブラリー紹介

Purennet Library

やまぐち女性財団では男女共同参画の啓発のため図書&ビデオ(DVD)の貸出しを行っています。

Book パパの極意 仕事も育児も楽しむ生き方



著者 安藤哲也 (NHK出版協会)

「育児も、仕事も、人生も、笑って楽しめる父親を増やしたい。」町の本屋さんからIT企業まで、数々の企業で働きながら子育てをして10年。父親支援のNPOを立ち上げるほどにハマった育児の醍醐味とは？子どもたちの明るい未来のために今、求められる父親像とは？仕事も家庭も地域活動もあきらめないで幸せな毎日を送る秘訣は？著者が体当たりでつかみ取った、パパの極意がここにある。

Book しがみつからない生き方 「ふつうの幸せ」を手に入れる10のルール



著者 香山リカ (幻冬舎新書)

いったいつから、生きることがこんなに大変になってしまったのだろうか。ふつうにがんばって、しがみつかずにおどろおどろに自分のペースで生きていけば、誰でもそれなりに幸せを感じながら人生を送れる。それで十分、というよりそれ以外の何が必要だろうか。物事の曖昧さ、ムダ、非効率を楽しむこと。そして他人の弱さを受け入れること。脱ひとり勝ち時代の生き方のルールを精神科医が提案。

磯野さんによる古代文学から近代小説、戦争での悲劇的な遺書等の朗読と、場面にふさわしいピアノ演奏が行われました。

14時〜15時

講義 「これからの男女共同参画社会」

磯野さんが男女共同参画社会のこれからについてまとめられました。「理想の男女共同参画社会への道はたやすいものではありませんが、それぞれが地域のリーダーとなって活躍して欲しいです。また地域によってそれぞれ目指すものが異なりますが、ハード事業で課題が解決するということは限界があり、人間関係の構築等のソフト事業重視が必要です。山口県でいえば分散型の都市点在型の構造で、大都市と過疎地という隔たりは出にくい等強みもあります。高齢化という悲観的な言葉でなく、長寿社会と読み取れば取り組み方も違ってきます。」

現代の社会構造が突然生まれたものでない等、時代背景について具体的な認識が深まりました。言葉の持つ力を良い方向に利用することが地域を元気にする決め手となるのではないのでしょうか。

1日のセミナーを終え、参加者からは「先人たちの努力を思いつつ、自分なりに出来ることをしたい」「少し視野が広がったような気がします」等充実した時間を過ごせたとの感想がありました。

(報告:原田)

●平成21年度男女共同参画フォーラム

主催 男女共同参画フォーラム実行委員会、山口県財団法人やまぐち女性財団
日時 平成21年10月10日(土)
場所 ルネッサなごと(長門市)
参加者 700名

講演会 「健康は家族からの贈りもの」

講師 江里健輔(山口県立大学学長)
落語 「芝浜」
噺家 柳家小満ん

第1文科会 「男女共同参画の過去・現在・これから」
紙芝居上映 清水明人(萩まじろ紙芝居実行委員会会長)
コーディネーター 陽 信孝(金谷天満宮司)
助言者 三宅義子(山口県立大学国際文化学部教授)

第2文科会 「笑って元氣な家族の絆 パートナーの絆」
講師 矢野大和(矢野大和事務所代表)

第3分科会 「みんなちがって、みんなパートナー」
講師 徳永あけみ(社会福祉法人周美会理事長)

団体等の活動紹介(展示、手づくり体験)
助成団体 11団体

●女性のチャレンジ支援セミナー

自分史づくりで見つめよう「わたし・わたし・わたし」
講師 松永朋子(NPO法人コミュニティ友志会代表理事)
日時 平成21年7月24日(金)
場所 山陽小野田市民館(山陽小野田市)
参加者 43名

コミュニケーションアップとラッピング講座
講義 コミュニケーションアップセミナー
講師 船崎美智子(ライフスタイル研究所代表)
講座 ラッピング講座
講師 藤田雅子(ケイトのクローバー代表)
日時 平成21年11月4日(水)
場所 新南陽ふれあいセンター(周南市)
参加者 36名

●配偶者からの暴力(DV)防止講座

DVとは？被害者・加害者にならないために！
講師 松田洋子(人権擁護委員)
日時 平成21年11月25日(水)
場所 美祿市民会館(美祿市)
参加者 40名

DVとは？被害者・加害者にならないために！
講師 岸 かおる(インディゴ・ブルー代表)
日時 平成22年2月6日(土)
場所 下関市勝山公民館(下関市)
参加者 45名

●講師派遣事業

男女共同参画について学習するために行われる学習会から講演会まで、人数や研修の形にかかわらず、財団の登録講師を派遣しました。
男女共同参画全般や労働、子育て、福祉等の分野に44人の講師登録があり、派遣に要する謝金と交通費は財団が負担しています。

派遣回数 59回

●男女共同参画推進活動支援事業

団体やグループが県内で行う男女共同参画社会の実現に資する事業に対して助成しました。

●男女共同参画推進活動スタート支援

新たに団体やグループを立ち上げるために行う研修、調査研究、仲間づくりのための企画等の事業に対して助成しました。

■助成対象経費の10/10以内 上限10万円
■単年度かつ1回限り

●男女共同参画推進活動ステップアップ支援

男女共同参画の推進に向けての課題解決や地域における活動の活性化の取り組みとして行われる事業に対して助成しました。

■助成対象経費の1/2以内 上限50万円

助成件数 4件

●研修派遣

「男女共同参画推進のための実践力養成セミナー2009」
主催 財団法人日本女性学習財団
「日本女性会議2009さかい」
主催 日本女性会議2009さかい実行委員会、堺市
「男女共同参画のための研究と実践の交流促進フォーラム」
主催 独立行政法人国立女性教育会館
「平成21年度交流学習会」
主催 独立行政法人国立女性教育会館

助成人数 8名

ピュアネットからのアンケート

- 1 今回の特集のテーマは「男女共同参画、5カ国の事情～中国・韓国・ロシア・スペイン・日本」でしたが、各国の状況について印象深かったことは何ですか？
- 2 男女の地位は平等であると感じますか？
また、どのような場面でそのように感じますか？
- 3 ピュアネットを読んだ感想をお聞かせ下さい。
- 4 ピュアネットや財団事業で取り上げてほしいテーマ等をお聞かせ下さい。

応募方法

氏名、住所、年齢、職業、電話番号を記入し、はがき、FAX、Eメールでお送りください。
ご協力いただいた方から抽選で10名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントいたします。
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

締め切り/平成22年5月31日(月) 消印有効

ピュアネットからのお知らせ

みなさんの声をお待ちしています

ピュアネットは、皆さんと財団を結ぶ情報の「ひろば」です。購入希望図書・DVD、編集についてのご意見、お気づきや質問等、お気軽にお寄せください。

「ピュアネット」定期購読者を募集します。

ピュアネットは、年2回(9月、3月)の発行です。定期購読(無料)をご希望の方は、事務局までお申し込みください。

問い合わせ先

財団法人 やまぐち女性財団

〒753-8501 山口市滝町1番1号

山口県男女共同参画課内

TEL・FAX 083-933-2643

http://www.yamaguchi-puren.net.org

E-mail purenet@yamaguchi-puren.net.org